フ ル オ ン ラ イ ン

（完 全 オ ン ラ イ ン）

履 修 要 項

Guidelines for Fully Online Program

情報技術研究科　情報システム専攻

ICT プロフェッショナルコース

2023 年第 1 版

Kobe Institute of Computing

神戸情報大学院大学

フルオンライン（完全オンライン）履修制度

フルオンライン履修制度とは、**通学することなく**、**神戸情報大学院大学の正規課程（専門職修士課程）をオンラインにより受講**する事によって、修了に必要なすべての科目を取得し、修士の学位［情報システム修士（専門職)］を取得する制度です。

・本学のオンライン授業は双方向型の遠隔授業です。
Web 会議アプリケーションを使用して講義やゼミを行います。本学では Zoom Meetings を標準的に使用しています。

- 通常は 2 年の修学期間ですが、長期履修制度（注 1）との併用によって、3 年または 4 年で修了することも可能です。学費支払総額は 2 年間でも 4 年間でも同じです。
- 通学圏内（神戸を中心とする関西圏）に居住している方も、本制度を活用できます。
- 働きながら、週末や夜間などを活用して学ぶことができます。
- 一方向型の「通信教育」ではなく、通常履修と同様の双方向型による講義と研究指導を提供します。

履修方法について

履修方法	概要
通常履修	対面でもオンラインでも受講できるハイフレックス制＝同時中継方式の受講形態になります。さらに、反転授業（注 2）型のビデオ受講を加える場合もあります。標準修業年限は 2 年です。
フルオンライン履修	**オンライン受講を活用して科目を履修し、通常履修と同様の内容で学習します。通学することなく標準修業年限の 2 年で修了を目指します。**
(注 1)長期履修制度	2 年間の標準修業年限で履修が困難な学生のために、事前申請により標準修業年限を越える 3 年または 4 年の間に計画的に修了を認める制度です。留年とは異なり学費支払い総額は、通常履修と同じです。

（注 2）反転授業

反転授業とは、授業の後に学生が宿題を行う従来の方式を「反転」させた授業形式です。
学生は授業時間外にビデオなどデジタル教材により知識習得や事前演習を済ませ、実際の授業時間には教員とのディスカッションや質疑を通じて知識確認や問題解決学習を行います。

通常履修（ハイフレックス制[注3]）とフルオンライン履修

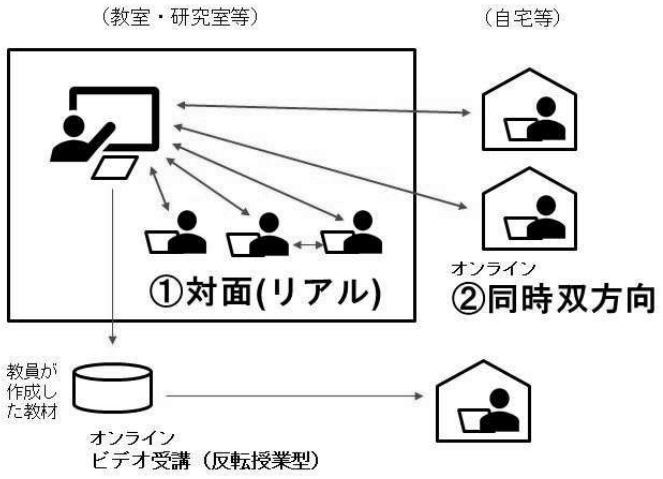
本学の通常履修（ハイフレックス）とフルオンライン履修の受講方法の違いは下記の通りです。

注 3)「ハイフレックス」とは、Hybrid and Flexible の略です。本学では対面（双方向型）・オンライン（双方向型）・ビデオ受講（反転授業型）の 3 つの受講形態を組み合わせて履修することができます。

通常の履修形態（ハイフレックス制）

・教員は教室あるいは研究室、自宅で講義やゼミ（研究指導）を行いオンラインで配信します。
・学生は、下記のいずれかの方法で受講します。
① 教室等で**対面（または集団オンライン）**受講
② 自宅等で**同時双方向オンライン**で受講

上記に加えて、科目により反転授業型のビデオ受講が行われます。

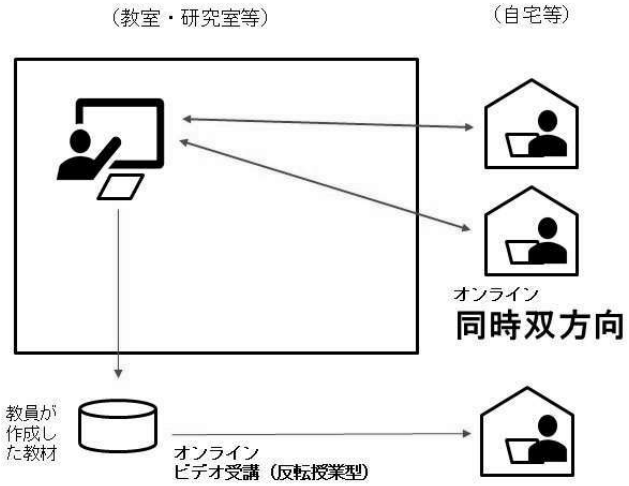


フルオンライン履修

・教員は教室あるいは研究室、自宅で講義やゼミ（研究指導）を行いオンラインで配信します。

・フルオンライン履修生は、自宅等で**同時双方向オンライン**で受講します。→対面受講はありません。

上記に加えて、科目により反転授業型のビデオ受講が行われます。



スケジュールについて　（通常履修、フルオンライン履修共通）

◇修士課程 2 年間の講義・ゼミ以外の重要な行事のスケジュールは下記の通りです。

修士課程 1 年次（M1）					修士課程 2 年次（M2）			
入学式	オリエンテーション		研究室配属	成果発表会	研究計画発表会	中間審査発表会	修了発表会	学位授与式
	教務	事務						
	履修登録など教務に関する説明を行います。	学生生活に関わる各種の説明を行います。	本学では入学後に研究室を決定し、配属されます。	M1 最後に 1 年次に取り組んだ特定課題研究 A の成果を発表します。	特定課題研究 B に取り組む M2 のはじめに、自身の計画を発表します。	修士論文の途中経過を発表し、教員からの講評を得て完成をめざします。	修士論文にまとめた修了研究を発表し、修了判定を受けます。	修了式。晴れて学位記を受けていただきます。

◇KIC の年間スケジュールは 6 期制となります。各科目は一部を除いて 1 期で修了します。
ICT プロフェッショナルコース / 4 月入学　使用言語：日本語

春 1 期	春 2 期	春 3 期	秋 1 期	秋 2 期	秋 3 期
4 月、5 月	6 月、7 月	8 月、9 月	10 月、11 月	12 月、1 月	2 月、3 月

◇週間スケジュール／時間割
・授業は月曜日から土曜日に開講されます。（祝日を除く）
・ICT プロフェッショナルコース(春入学)の 6 時限以降の授業は、オンラインのみの開講となります。

時限 開始 終了	月	火	水	木	金	土
1 時限 09:20 10:50	ハイフレックス授業	ハイフレックス授業	ハイフレックス授業	ハイフレックス授業	ハイフレックス授業	ハイフレックス授業
2 時限 11:00 12:30	ハイフレックス授業	ハイフレックス授業	ハイフレックス授業	ハイフレックス授業	ハイフレックス授業	ハイフレックス授業
3 時限 13:30 15:00	ハイフレックス授業	ハイフレックス授業	ハイフレックス授業	ハイフレックス授業	ハイフレックス授業	ハイフレックス授業
4 時限 15:10 16:40	ハイフレックス授業	ハイフレックス授業	ハイフレックス授業	ハイフレックス授業	ハイフレックス授業	ハイフレックス授業
5 時限 16:50 18:20	ハイフレックス授業	ハイフレックス授業	ハイフレックス授業	ハイフレックス授業	ハイフレックス授業	授業なし
6 時限 18:50 20:20	オンライン授業のみ	オンライン授業のみ	オンライン授業のみ	オンライン授業のみ	オンライン授業のみ	
7 時限 20:30 22:00	オンライン授業のみ	オンライン授業のみ	オンライン授業のみ	オンライン授業のみ	オンライン授業のみ	

・夜と土曜日の受講のみで修了できるよう、ICT プロフェッショナルコースの特定課題研究（ゼミ）は基本的に土曜日に開講されます。

フルオンライン履修の受講方法について

フルオンライン履修生の講義やゼミなどへの受講方法については下記をご確認ください。

【授業について】

〇受講可　△可の場合もある　×受講不可

授業	双方向オンライン受講（開催同時受講）	対面（リアル）受講
＜必修＞探究実践演習	〇	×
＜必修＞技術者倫理	〇	×
＜必修＞特定課題研究 A（ゼミ）	〇	×
＜必修＞特定課題研究 B（ゼミ）	〇	×
選択科目の受講	〇	×
各科目の試験	〇	×
視察研修（学外）	△	△

【行事について】

〇参加可　△可の場合もある　×参加不可

行事	双方向オンライン（開催同時参加）	対面（リアル）参加
入学式（ICT プロフェッショナル）	×	〇
教務オリエンテーション	〇	〇
事務オリエンテーション	〇	△
成果発表会	〇	〇
研究計画発表会	〇	〇
中間審査発表会	〇	〇
修了発表会	〇	〇
学位授与式（修了式）	〇	〇

- 講義は日本の標準時間を基準に開講します。特定課題研究（ゼミ）などの研究指導も同様です。時差のある海外などからの参加の場合はご注意ください。
- 研究指導については、規定時間以外での開催が可能な場合もあります。ご都合により通常開催ゼミに出席できない場合などは、事前に指導教員とご相談ください。
- フルオンライン履修の場合、図書室を除いて大学院施設の日常的な利用はできません。（そのため、施設・設備費は免除となっています）。教室での授業参加や研究室を利用する場合は、通常履修の扱いとなってしまい、通常の学費が適用されますのでご注意ください。
- 通常履修の学生が入学後にフルオンライン履修へ変更することは、原則できません（応相談）。
- 図書室の図書の貸し出しサービスは利用できます。なお、郵送による貸し出しには対応していません。

申込方法

募集要項に添付されている「フルオンライン履修制度利用申請書」に必要事項を記入の上で、出願書類と一緒にご提出ください。出願後の申請や、入学後に通常履修からフルオンライン履修への変更は、原則として認められません。

学費

フルオンライン履修の場合、学費から 40 万円（2 年間合計）が減免されます。

◆2 年間の総額比較

標準学費 （フルオンライン履修を選択しない場合）	1 年次納付額	2 年次納付額	総額
	入学金＋授業料 ＋施設・設備費	授業料＋施設。設備費	¥3,400,000
	¥1,800,000	¥1,600,000	

⇩

フルオンライン履修学費	1 年次納付額	2 年次納付額	総額
	入学金＋授業料	授業料	¥3,000,000
	¥1,600,000	¥1,400,000	

⇩

フルオンライン履修―学生応援奨学金（注 4）を併用の場合	1 年次納付額	2 年次納付額	総額
	入学金＋授業料	授業料	¥2,600,000
	¥1,400,000	¥1,200,000	

注４　「学生応援奨学金」とは、日本国籍の私費負担入学希望者に所定の手続きを経て年間 20 万円の奨学金を付与する本学独自の奨学金です。留学生の方には、別途「留学生支援奨学金」があります。

⇩

さらに、「専門実践教育訓練給付金（注 5）」を利用した場合、2 年間で最大 112 万円の給付を受けられる可能性があります。

注５　専門実践教育訓練給付金は、中長期的なキャリア形成を支援するため、平成 26 年 10 月から拡充された教育訓練給付金です。 専門的・実践的な訓練が対象となるため、給付率は一般教育訓練給付よりも高く、訓練の受講を修了・資格取得等をし、修了から 1 年以内に就職に結びついた場合は、追加の支給も受けられます。
専門実践教育訓練の教育訓練給付金の支給対象者は、基本的に雇用保険の被保険者（在職者）または雇用保険の被保険者であった方（離職者）で、厚生労働大臣が指定する専門実践教育訓練講座を修了する見込みで受講している方となります。支給要件期間について細かく定められており、また受講開始前に事前の手続が必要になりますので、必ず最寄りのハローワークにお問い合わせください。

専門実践教育訓練給付金については、厚生労働省「教育訓練給付金制度」をご参照ください。
https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/koyou_roudou/jinzaikaihatsu/kyouiku.html

よくある質問事項（FAQ）

Q.すべてオンラインの履修だけで修了できますか。
A.　修了できます。
選択科目の一部(1，2科目)に対面受講が必要な科目(ハード系)がありますが、こちらを選択・履修せずに修了要件を満たすことが可能です。

Q.　オンライン履修で取得できる学位と通常履修で取得する学位は違いますか。
A.　同じです。「情報システム修士（専門職）」（英文名称“Master of Science in Information Systems”）が取得できます。

Q.　「通信教育」ですか。
A.　通信教育ではありません。
本学のフルオンライン履修制度は、正規課程をオンラインで履修するものです。大学設置基準、大学院設置基準、専門職大学院設置基準で言及される「多様なメディアを高度に利用して授業を行う教室等以外の場所で履修させる」もので、「通信教育課程」ではありません。一方向型の教育ではなく、双方向型で講義と研究指導が提供されます。

Q.　好きな時間に受講できますか。
A.　夜間や土曜日も開講していますので、就業中の方や忙しい方も、御自身のペースで受講いただけます。長期履修制度を活用した場合は、最大４年間まで就学が可能です（学費は２年間修了と不変）。オンライン制度を活用することによって、通学時間も不要になります。

Q.　修了（学位取得）するためにはどのような条件が必要ですか。
A.　修了要件は通常履修と同じです。

Q.　海外からも入学できますか。
A.　海外から入学できます。入学試験も全てオンラインで実施します。
各科目やゼミ（特定課題研究）のは日本時間を基準に開講されますので、時差のある国から入学される場合は、開講時間に受講ができるかを事前（ご入学前）にご確認ください。

Q.　入学後に通常履修からフルオンライン履修への切り替えや、フルオンライン履修から通常履修への切り替えはできますか。
A.　フルオンライン履修への申し込みは出願時に必要です。原則として、入学後に通常履修からフルオンライン履修へ変更することはできません。
フルオンライン履修から通常履修に変更を希望する場合は、学長の許可を得て、変更できる場合があります。ただし、学費は通常履修のものが適用されます。